令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　【松江市立 鹿島東小学校 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○文章の構成や表現の特徴、表現上の工夫を読み取ることができる児童が多い。 ○既習の漢字についての知識が定着しており、正しく読み書きできる児童が多い。	・150字程度の条件付き作文を書く活動を設ける。 ・説明文の段落ごとの関係を考える学習を重点的に行う。 ・様々な文章に触れられるよう、読書活動を推進する。
	課題	●条件に応じて、内容や構成を考えながら文章を書くことに苦手意識をもつ児童が多い。 ●文章の内容を図やメモなどに表したものから、必要な情報を読み取ることに苦手意識をもつ児童が多い。	
算数	成果	○基礎的な計算や問題文の読み取りを理解している児童が多い。 ○短答式の問題に正しく答えることができる児童が多い。	・文章問題で、問われている文に線を引く習慣をつける。 ・文章問題を解く時に問題の意味を正しく捉える時間を確保する。 ・複数の条件を読み解く問題に取り組む。 ・資料から読み取ったことを表現する場を作る。(対話、記述など)
	課題	●問題文から必要な情報を整理し、何を求めるのかを考えることに課題が見られる児童が多い。 ●自分の考えを整理し、文章にして答えることに課題が見られる児童が多い。	

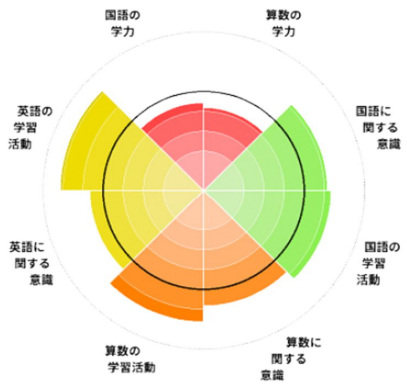
(2)質問紙調査から見られた傾向

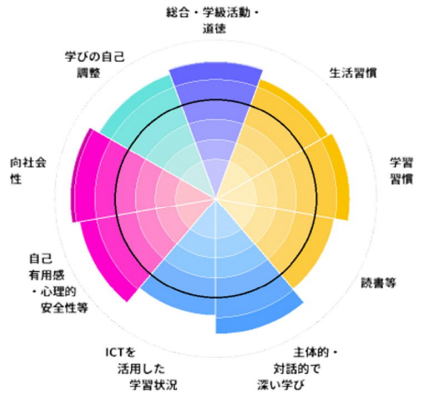
		分析(成果○:強み/伸ばしたい点，課題●:弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○「自分にはよいところがある」と感じる児童が100%で自己肯定感が高い。 ○「ICT機器の使用」や「総合的な学習での探究活動」の割合が100%で、ICTを活用した主体的な学習が進んでいる。	・読書時間を増やしていくために、国語の授業で並行読書やブックトークを取り入れたり、学年に応じた本を紹介したりするなど、読書に親しむ機会を増やしていく。
	課題	●「学校の授業以外の読書時間30分以上」の割合が低く、読書習慣の定着に課題がある。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

学校全体	◎根拠を明確にして自分の考えを表現し、対話を通して考えを深める授業づくり。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)





【受検者数】

18 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

